

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成26年11月6日

【四半期会計期間】 第43期第2四半期(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井宗徳

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間		自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	(千円)	5,399,210	6,197,995	12,650,287
経常利益	(千円)	334,109	215,344	365,831
四半期(当期)純利益	(千円)	223,179	143,730	235,855
四半期包括利益又は 包括利益	(千円)	225,777	146,385	240,203
純資産額	(千円)	3,869,481	3,896,152	3,816,657
総資産額	(千円)	7,566,443	8,366,627	8,044,265
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	26.78	17.25	28.30
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	51.1	46.6	47.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	234,840	177,717	173,528
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	145,437	213,713	283,738
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	297,957	12,767	150,718
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,023,762	902,540	925,768

回次		第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	11.79	8.49

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により株価の上昇や企業の雇用環境の改善が図られ、国内景気は緩やかに回復の気配が見られるものの、消費税の増税による反動から個人消費が低迷し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、円安や消費税の増税等の影響により物価が上昇しており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想され、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が増加したこと等により、前年同期比14.8%増の6,197百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において原料買付単価が上昇したこと等により、営業利益は同35.9%減の204百万円、経常利益は同35.5%減の215百万円、四半期純利益は同35.6%減の143百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比2.0%増加したことや鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比19.8%（約34円）高く推移したこと等により、液卵売上高は前年同期比18.5%増の5,294百万円となりました。また、加工品売上高は同9.1%減の212百万円、その他売上高は同1.6%減の120百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の合計の売上高は、同16.7%増の5,628百万円となりました。

セグメント利益につきましては、鶏卵市場での業務加工用の需要増加により、加工用原料卵の仕入減少に伴い原料買付単価が上昇したこと等により、前年同期比41.5%減の157百万円となりました。

#### 調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存商品の販売が減少していることから、前年同期比1.0%減の547百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少の影響により、前年同期比3.7%減の36百万円となりました。

#### その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比1.4%減の22百万円となり、セグメント利益は同12.4%減の10百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は8,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加しました。

流動資産は4,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品の増加288百万円、受取手形及び売掛金の減少167百万円等によるものであります。

固定資産は4,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加275百万円等によるものであります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,470百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加しました。

流動負債は2,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加69百万円、短期借入金の減少160百万円等によるものであります。

固定負債は1,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加239百万円等によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益143百万円の計上及び配当金の支払い166百万円により利益剰余金が77百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.4%から46.6%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ121百万円減少し902百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ57百万円減少し177百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上212百万円及び売上債権の減少167百万円、法人税等の還付額57百万円、たな卸資産の増加319百万円等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ68百万円増加し213百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出185百万円及び無形固定資産の取得による支出27百万円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ310百万円増加し12百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入470百万円、短期借入金の純減少額190百万円、長期借入金の返済による支出200百万円、配当金の支払額66百万円等によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は71百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,345,370	8,345,370	東京証券取引所 市場第二部 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	8,345,370	8,345,370		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日		8,345,370		455,850		366,322

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
藤井 宗徳	福岡市東区	1,257	15.07
宇高 紫乃	山口県山口市	675	8.10
藤井 泰子	福岡市東区	594	7.12
藤井 智徳	福岡市東区	543	6.52
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13-1	394	4.73
宇高 真一	山口県山口市	287	3.44
宇高 和真	山口県山口市	284	3.41
藤井 将徳	福岡市東区	283	3.40
藤井 徳夫	福岡市東区	240	2.88
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	188	2.25
計		4,750	56.92

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,233,500	82,335	
単元未満株式	普通株式 98,670		
発行済株式総数	8,345,370		
総株主の議決権		82,335	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式97株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 大字戸原200番地の1	13,200		13,200	0.16
計		13,200		13,200	0.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,313,268	1,290,040
受取手形及び売掛金	1,959,311	1,791,536
商品及び製品	394,068	682,730
仕掛品	41,169	53,519
原材料及び貯蔵品	294,034	312,936
繰延税金資産	15,673	33,401
その他	84,821	41,952
貸倒引当金	5,316	5,822
流動資産合計	4,097,031	4,200,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,045,967	1,009,595
機械装置及び運搬具（純額）	516,681	792,590
土地	2,069,143	2,075,256
その他（純額）	100,777	25,870
有形固定資産合計	3,732,569	3,903,311
無形固定資産	11,542	40,215
投資その他の資産		
投資有価証券	61,549	66,581
繰延税金資産	120,942	123,384
その他	33,113	45,315
貸倒引当金	12,483	12,477
投資その他の資産合計	203,121	222,804
固定資産合計	3,947,233	4,166,332
資産合計	8,044,265	8,366,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,175	524,115
短期借入金	1,702,882	1,542,425
未払法人税等	24,872	94,178
未払消費税等	2,365	7,905
賞与引当金	57,577	67,096
役員賞与引当金		9,500
その他	411,229	537,851
流動負債合計	2,766,101	2,783,071
固定負債		
長期借入金	824,408	1,064,399
負ののれん	18,169	6,056
長期未払金	567,235	567,235
繰延税金負債	29,717	29,633
その他	21,975	20,078
固定負債合計	1,461,506	1,687,403
負債合計	4,227,608	4,470,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,327	366,327
利益剰余金	2,990,718	3,067,788
自己株式	5,232	5,462
株主資本合計	3,807,663	3,884,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,993	11,648
その他の包括利益累計額合計	8,993	11,648
純資産合計	3,816,657	3,896,152
負債純資産合計	8,044,265	8,366,627

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,399,210	6,197,995
売上原価	4,332,386	5,220,583
売上総利益	1,066,824	977,411
販売費及び一般管理費	747,283	772,677
営業利益	319,540	204,734
営業外収益		
受取利息	561	353
受取配当金	749	779
負ののれん償却額	12,113	12,113
受取賃貸料	3,147	2,866
その他	7,116	4,623
営業外収益合計	23,688	20,737
営業外費用		
支払利息	9,119	10,127
営業外費用合計	9,119	10,127
経常利益	334,109	215,344
特別利益		
固定資産売却益	-	1,294
特別利益合計	-	1,294
特別損失		
固定資産除売却損	49	4,268
特別損失合計	49	4,268
税金等調整前四半期純利益	334,059	212,370
法人税、住民税及び事業税	112,888	89,839
法人税等調整額	2,007	21,199
法人税等合計	110,880	68,640
少数株主損益調整前四半期純利益	223,179	143,730
少数株主利益	-	-
四半期純利益	223,179	143,730

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,179	143,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,598	2,655
その他の包括利益合計	2,598	2,655
四半期包括利益	225,777	146,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,777	146,385
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	334,059	212,370
減価償却費	102,902	113,224
負ののれん償却額	12,113	12,113
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,500	500
賞与引当金の増減額(は減少)	4,720	9,518
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,500	9,500
受取利息及び受取配当金	1,310	1,133
支払利息	9,119	10,127
受取保険金	328	273
固定資産除売却損益(は益)	49	2,974
売上債権の増減額(は増加)	229,021	167,780
たな卸資産の増減額(は増加)	32,402	319,914
仕入債務の増減額(は減少)	177,898	43,060
未払消費税等の増減額(は減少)	31,732	5,540
その他	102,599	1,358
小計	394,291	153,683
利息及び配当金の受取額	1,120	1,136
利息の支払額	9,560	9,933
保険金の受取額	328	273
法人税等の支払額	151,338	24,887
法人税等の還付額		57,446
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>234,840</b>	<b>177,717</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	334,500	324,500
定期預金の払戻による収入	324,500	324,500
有形固定資産の取得による支出	134,500	185,743
有形固定資産の売却による収入		13,500
投資有価証券の取得による支出	1,450	1,432
無形固定資産の取得による支出		27,717
その他	514	12,320
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>145,437</b>	<b>213,713</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)		190,000
長期借入れによる収入		470,000
長期借入金の返済による支出	214,281	200,466
自己株式の取得による支出	335	229
自己株式の売却による収入	25	
配当金の支払額	83,366	66,537
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>297,957</b>	<b>12,767</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(は減少)</b>	<b>208,554</b>	<b>23,228</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,232,317	925,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,023,762	902,540

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
運賃	277,517千円	292,991千円
貸倒引当金繰入額	千円	506千円
賞与引当金繰入額	22,816千円	25,082千円
役員賞与引当金繰入額	11,500千円	9,500千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金	1,371,262千円	1,290,040千円
預入期間が3か月を超える定期預金	347,500千円	387,500千円
現金及び現金同等物	1,023,762千円	902,540千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	83,342	15	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月12日 取締役会	普通株式	66,668	8	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	66,660	8	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月5日 取締役会	普通株式	41,660	5	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,823,509	552,821	5,376,331	22,878	5,399,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,823,509	552,821	5,376,331	22,878	5,399,210
セグメント利益	269,949	38,082	308,032	11,508	319,540

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	308,032
「その他」の区分の利益	11,508
四半期連結損益計算書の営業利益	319,540

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,628,141	547,303	6,175,445	22,549	6,197,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	5,628,141	547,303	6,175,445	22,549	6,197,995
セグメント利益	157,988	36,659	194,647	10,086	204,734

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	194,647
「その他」の区分の利益	10,086
四半期連結損益計算書の営業利益	204,734

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26円78銭	17円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	223,179	143,730
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	223,179	143,730
普通株式の期中平均株式数(株)	8,334,063	8,332,328

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第43期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）中間配当について、平成26年11月5日開催の取締役会において、平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	41,660千円
1株当たりの金額	5円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年12月10日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月6日

イフジ産業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 只 隈 洋 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。